

平成28年度第6回理事会議事概要

日 時 : 平成28年9月9日(金) 15:30～16:15

場 所 : 森林総合研究所特別会議室

出席者 : 理事長 沢田 治雄

理事(企画・総務・森林保険担当) 桂川 裕樹

理事(研究担当) 田中 浩

理事(育種事業・森林バイオ担当) 渡邊 聡

理事(森林業務担当) 奥田 辰幸

理事(法令遵守担当) 三木 眞

監事 鈴木 直子

監事 平川 泰彦

総括審議役 上野 司郎

総括審議役 大貫 肇

総括審議役 國井 聡

審議役 河野 晃

企画部長 高橋 正通

総務部長 松本 寛喜

1. 開会

2. 議事

(上野総括審議役)

ただいまより、平成28年度第6回理事会を開催いたします。本日は報告事項が5件となっております。順次説明をお願いいたします。

I-1. 平成27年度における業務の実績及び第3期中期目標期間における業務の実績に係る評価結果について

(桂川理事)

資料の1枚目は、第3期中期目標期間の業務実績等に係る評価についての、農林水産大臣から理事長あての公文書でございます。2ページの表は年度評価でございます、平成27年度の評価となっております。Bという評価が計画どおり行われている、Aの評価をいただいたものが非常に優れた成績をあげたということになります。

第1の「国民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置」、これは研究関係ですけれども「木材の需要拡大に向けた利用促進に係る技術の開発」、「新規需要の獲得に向けた木質バイオマスの総合利用技術の開発」、「森林への温暖化影響評価の高度化と適応及び緩和技術の開発」、「森林の生物多様性の保全と評価・管理・利用技術の開発」、「高速育種等による林木の新品種の開発」の5つの項目についてAを獲得しております。そして表の右側、第2の「業務運営の効率化に関する目標を達成するためとるべき措置」の中では、「内部統制の充実・強化」をご覧頂きたいのですが、平成26年度は残念ながら経理に関する不適正事案があったということもありましてCということでしたけれども、平成27年度の評価はBを回復できたということになります。

3ページは中期計画の期間全体を通じての評価である期間実績評価です。

こちらは研究課題で年度評価より多く7つのAを獲得しております。そして、「行政機関、他の研究機関等との連携及び産学官連携・協力の強化」、こちらでもAを獲得することができました。こちらは林野庁で開かれました国立研究開発法人審議会林野部会の際に、外部委員の先生から「期間全体を通してみれば非常に良い成績ではないか」というご意見を頂戴しまして、結果としてA評価をいただいた部分でございます。一方、残念でありましたのは表右側の方ですけれども、「内部統制の充実・強化」につきましては、期間の間にカルタヘナ法違反や経理の不適正事案等の問題があったということでC評価となったところでございます。

I-2. 平成28年度の会計監査人の決定について

(桂川理事)

平成28年度の会計監査人の決定についてでございます。本年度第4回理事会において、平成28年度会計監査人候補者の農林水産大臣への選任請求について承認を得て、手続きを進めてきたところ、先般、農林水産大臣から選任請求どおり会計監査人を選任したとの通知があったのでお知らせします。

このことにより平成２８年度の会計監査人につきましては、有限責任監査法人トーマツをお願いをするということになりました。経験も十分ございますので、しっかりした監査をしていただけるものと思っております。

I－３．平成２８年度森林総合研究所関係補正予算案の概要について

（桂川理事）

補正予算案についてでございます。こちらの資料は補正予算のＰＲ資料でございます。森林総合研究所の災害復旧事業として１０億５千万円の補正予算案をお認めいただきました。内容としましては、九州支所の施設設備等の復旧や九州育種場の施設設備の復旧ということで、九州支所の特殊実験棟の建替、これが大きなウエイトを占めることになっております。特殊実験棟は、建物の性格上全て木造で造ることは難しいとは思いますが、入札にあたりましては木造またはハイブリッドを要件としております。またＣＬＴにつきまして、出来るだけ積極的な使用に努めたいと思っております。

（奥田理事）

平成２８年度水源林造成事業の補正予算案につきまして、第２次補正で４，５０１百万円措置されております。具体的には、除伐、間伐、作業道の整備等に執行するという計画でございます。臨時国会で成立後計画的な執行に努めて参りたいと考えております。

I－４．平成２９年度森林研究・整備機構関係概算要求の概要について

（桂川理事）

新しい組織の名称である国立研究開発法人森林研究・整備機構の研究・育種勘定運営費交付金ということでございます。金額的には１０，１５８百万円ということで、今年度予算に比べると僅かに減少しております。減少しているのは、ルールどおり一般管理費対前年比９７％、業務費対前年度９９％などでございます。増加分としましては、機構の名称変更に伴う予算として２７百万円を認めていただいております。また、情報セキュリティの関係で第２ＧＳＯＣ関連予算として３百万円がついております。

施設整備補助金としまして、２１９百万円となっております。内容としましては、北海道支所の暖房設備改修７３百万円、林木育種センター木材組織解析室改修１４６百万円となっております。

（奥田理事）

森林整備センター関係予算につきまして、公共事業は水源林造成事業国庫補助金等が２７，５４２百万円、平成２８年度当初予算と比較しますと対前年度１０８．７％の伸び率の予算額でございます。また借入金５，９００百万円、平成２８年度当初予算と比較しますと９５．２％ということでございます。国庫補助金には通常の一般会計と東日本大震災復興特別会計を含んだ数字でございます。非公共事業につきましては、幹線林道事業移行円滑化対策１２５百万円、放射性物質対処型森林・林業復興対策実証事業３

7 百万円、いずれも対前年比 1 0 0 %の要求となっております。

また、今回の法律改正で水源林造成業務の本則化及び事業内容の拡充が行われたわけでございます。これを踏まえまして、水源林造成事業につきまして、同事業の既契約地及びこれと一体的かつ効率的に施業を行える周辺の保安林等におきまして必要に応じ広葉樹の進入を促進するための更新伐、あるいは樹化植栽等の施業を新たに拡充で認めていただくよう要求がなされていると聞いております。

(鈴木監事)

3 百万円の情報セキュリティ対応というのは、何でしょうか。

(桂川理事)

つくばエリアの農林水産関係機関の情報ネットワーク全体としてセキュリティの強化が図られる予定です。そのうち森林総合研究所の負担分として3 百万円あるので、それがそのまま予算に増額されたということです。

(沢田理事長)

名称変更に2 7 百万円となっておりますが、これで可能なのですか。

(上野総括審議役)

看板、ホームページの改修等それぞれについて所要額を積み上げて積算しております。

(上野総括審議役)

本日の報告事項は以上でございます。

これで平成2 8 年度第6 回理事会を終了いたします。

次回の平成2 8 年度第7 回理事会は1 0 月1 4 日（金）に開催予定です。

3. 閉会